



今季国内で分離された高病原性鳥インフルエンザウイルスの病原性解析結果

「過去の国内分離株と比べて死亡するまでの期間が長い傾向」

農研機構動物衛生部門*が香川県の養鶏場での今季初発の高病原性鳥インフルエンザ発生事例から分離されたH5N8亜型インフルエンザウイルスの病原性解析を行いました。鶏への静脈内接種試験および経鼻接種試験の結果、本ウイルスは、**鶏に対して高い致死性を示すものの、死亡するまでの期間が長い傾向**が認められました。本ウイルスによる高病原性鳥インフルエンザ発生の早期発見には、**農場での鶏の死亡数の増加に十分な注意を払うことが必要**です。

※農研機構（のうけんきこう）は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の通称です

感染を広げないために 早期発見・早期通報をお願いします

今シーズンのウイルスは、以前国内で発生したウイルスよりも「感染してから死亡するまでの期間が長い」ことから、農場内での発見が遅れるおそれがあります。高病原性鳥インフルエンザのまん延を防止し、早期にウイルスを封じ込めるために、鶏の健康観察を徹底し、以下の場合はすぐに家畜保健衛生所へ通報してください。

- ①症状の有無にかかわらず、同一の家きん舎内において、1日の家きんの死亡率が対象期間（当日からさかのぼって21日間）における**平均の死亡率の2倍以上**となっている場合
- ②死亡率が2倍未満の場合であっても、**まとまって死亡している、元気がない、餌食いが悪い、沈うつ等**といった通常と異なる症状が認められる場合

国内における高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜発生状況 (12月16日時点)

高知県で今シーズン初めての発生がありました。

	都道府県	市町村	畜種	飼養羽数	疑似患畜判定日	病原性	亜型
27	高知県	宿毛市	採卵鶏	約3.2万羽	12/16	検査中	H5
28	香川県	三豊市	肉用鶏	約1.4万羽	12/16	検査中	H5
				疫学関連農場：肉用鶏 約1.5万羽			

●飼養衛生管理基準を自主点検し、「×」の部分を改善しましょう！

- 衛生管理区域に立ち入る者の**手指消毒**等、**専用の衣服及び靴**の設置並びに使用
- 衛生管理区域に立ち入る**車両の消毒**等 **衛生管理区域入口で手指消毒や手袋装着をしても家きん舎に入る時は、さらに手指消毒等が必要**です
- 家きん舎**に立ち入る者の**手指消毒**等 **家きん舎**ごとの**専用の靴**の設置及び使用
- 野生動物の侵入防止のための**ネット等の設置、点検及び修繕**、**ねずみ・害虫の駆除**